

妖怪学探究に情熱を傾けし円了翁の奇書、公開せまる!!

井上円了編輯(妖怪学雑誌社発行)

復刻 妖怪学雑誌

全5巻 上製 A5判・函入 美麗セット 揃定価30,000円

(分売不可)

解説 板倉聖宣『妖怪学雑誌』の総目次と円了の著作

本書の主な内容

☆図画(毎号一葉)——井上博士所蔵額面・台湾の仏像・インドの守札・狐狸怪物の筆跡・骨相図・西洋の船幽霊・西洋怪物図・西洋の地獄図・天狗の筆跡・西洋の妖怪図・怪龍の一種・山男の図・船幽霊の一種・人身魚尾の怪・古狸寒山図・エジプトの古画・エジプト拝神図・西洋妖怪図・会合題字・御札御守縮図

☆論説(すべて井上円了述)——真怪論・心理療法論・妖怪学と諸学との関係・卜筮論・骨相論・死論・恐死病を治する法・戦争論・運命論・忘憂論・忘病論・妖怪研究に書籍を要する所以・天災論・安心税・養神論・妖怪学と美術との関係を論ずる・妖怪学上宗教と哲学との位置・明治三四年を迎う・論怪・禁厭は滑稽の一種・迷信的動物・妖怪学の本尊説・哲学的守札

☆雑録(妖怪学雑誌)——不思議庵主人(円了)記——故意に作れる妖怪談の一例・妖怪学を研究すると自然に世態人情の有様を知ることが出来る例・支那の事実を模倣して作せる「実事談」・日本魔鏡の理・脚気病のマジナイ法・利欲の為に作られる妖怪——利欲怪の一例・戦場に死する覚悟と妖怪学との関係・愚俗の迷信・幽霊談・幽霊の写真・夢の話・偽怪と真怪の矛盾論ほか

☆雑報——長野の怪談・怪音・変幻男子・深川幽霊騒ぎ・都新聞の幽霊談・浅草の誤怪・横浜の船幽霊・川崎の妖怪屋敷・火屋に人面・大貫の怪談・台湾の怪談・各国の幽霊及び怪物・弘前怪談・福徳延命地藏・天狗祭・神隠し・蔵島の不思議・能州の七不思議・哲学館の妖怪地・西洋の妖怪・横浜館の幽霊騒ぎ・京都及び奈良の妖怪・夢の符合・かたつむりのたたり・妖怪歌・神崎の怪異・ロンドンの幽霊・亀山の怪石・虫歯を止める法ほか

☆妖怪学講義——総論(定義編)・学科編・関係編・種類編・歴史編・原因編・説明編・理学部門(天変編・地妖編・草木編・鳥獸編・異人編・怪火編・異物編・変事編)・医学部門(人体編・疾病編・療法編)・純正哲学部門(偶合編・陰陽編・占考編・卜筮編・鑑術編・相法編・暦日編・吉凶編)・心理学部門(心象編・夢想編・憑附編・心術編)・宗教学部門(幽霊編・鬼神編・冥界編・觸穢編・呪願編・靈験編)・教育学部門(智徳編・教養編)・雑部門(怪事編・怪物編・妖術編)

☆妖怪学雑誌刊行の辞 懸賞問題三題・ほかに円了の書籍の広告多数

明治期の哲人、井上円了翁(一八五八〜一九一九)の妖怪学研究は昨今、再評価の聲が高く、多くの民俗学者・宗教学者・科学教育者等の円了研究が進められている。しかし、そうした研究の基層となるべき肝心の原典は殆ど入手不可能であり、徒らに古書価のみが高騰する有様であった。このような研究家の渴を癒すべく昨年『新編妖怪叢書』全八巻を復刊した小社は、ここに円了の大衆啓蒙活動の重要資料たる『妖怪学雑誌』(明治三三〜三四年・全二六号)を復刊するに至った。復刊に当たっては東洋大学図書館井上円了文庫蔵のものをテキストとし、加えて板倉聖宣博士の詳細なる解説を付した。本書の復刊が円了学・妖怪学研究のさらなる深化の一助となることを切に願う次第である。円了研究家、民俗学研究家、必読の大著!



『妖怪学雑誌』の特徴
● 毎号度に円了先生蒐集になる珍しい口絵を一葉ずつ収録しています。(狐狸怪物の筆跡など)
● 各号に円了先生述の論説が付されており、本書でしか読めない論文が多数収録されています。
● 雑録(別名「妖怪窟雑話」)はのちに『お化けの正体』等に発展する面白い読物になっています。
● 雑報は当時の読者より円了翁のもとに寄せられた妖怪談を報じ民俗学資料として重要です。
● 毎月「妖怪学講義」が分割連載されており、全号並ぶとそのまま「妖怪学講義」が復元されます。

注文書	
帳合・貴店名	
書名	著者
妖怪学雑誌	井上円了
部数	国書刊行会
セット	
定価	30,000円

国書刊行会 東京都豊島区巢鴨三十一番八 電話03(917)8287